



## ロータリーの友便り

ロータリーの友  
地区代表委員

### 庄野 晋吉

(大阪RC)

9月は「ロータリーの友月間」です。

各クラブに於かれましては、広報委員長の卓話を通じて、「友」の存在を位置づけて頂きます。「友」の存在意義、歴史や変遷、そして「友」への投稿規定などを報告して、「友」の認識を深めて頂いて、活性化を図る月間にして頂きます。

「心は共に」「ロータリー・アット・ワーク」「卓話の泉」「わがまち・そしてロータリー」「友愛の広場」「バナー自慢」や「例会食事エピソード」そして「俳壇・歌壇・柳壇」も投稿をお待ちしています。

<8月号のお薦め記事>

【3ページ】

RI会長メッセージ

「最高でなければ良いとは言えない」

この記事はロータリーの根幹であります「職業奉仕」の基本である「品質」は最高であるべきであるとの会長の信念を、世界中の子供たちが楽しんでいる「レゴ」を開発したクリスチャンセン氏の実話を例にして、我々ロータリアンが取るべき全ての活動の基準を差し示しておられます。

われわれが行うすべての仕事、行動を通じて「世界へのプレゼント」になるために、最善を尽くしてほしいとの願いが込められています。

【24ページ】

ロータリーデー

我々2660地区の「共にロータリーを楽しむ」

ロータリーの第一基本色であるスカイブルーのポロシャツを全員が着て快晴の御堂筋から土佐堀通りを82クラブが参加して、インターアクトの皆さんを先頭に大行進です。

テーマは「Light up Osaka・考えよう子供たちの

未来を」と題して、「危険ドラッグ撲滅」の大弾幕や旗を掲げ、全員が風船を手にして行進しました。

行進の後、市公会堂で盛り沢山のイベントを開催し、楽しさも学びもある行事で、大いに盛り上がりました。

地区を挙げての大イベントに取り組んだのは我が地区だけだったのでは、と誇らしい一日でしたが、明察と行動力で有名な「ロータリーの友」の編集長・二神典子氏御本人が、乗り込まれての、取材報告です。

【81ページ】

IM講演要旨

「出会い、感動、夢への挑戦」(2710地区 1組)

下関市の波佐間教育長が新しい教育のあり方を深く考えられて「心を育む」ことであり「学校と地域を絆でつなぐ」ことであると述べられた講演です。

多くの例を引き合いにされて、人間の生き方を学ぶ「人間学」を学ぶことを勧めておられます。波佐間氏の主張は、我々ロータリアンの親睦行動そのものであり、出前授業などの参考にもしたい講演です。

末尾の結論が「自分の天職、使命をいかに果たしていくのか、われわれの大きな仕事です。このことを、まず、自分自身に問いかけてみてはいかがでしょうか?」と仰っています。

これは、ポールハリスの言葉と全く同じなのです。

<ロータリーの友からのお願い>

2015-16年度「友」誌表紙写真12~3月号と5月号の表紙写真を再募集します。

\* 締切…2015年10月10日

\* 点数…一人3点まで

\* サイズ…紙焼き四つ切り

\* 応募先…「友」事務所へ郵送。又は、各クラブ事務局を経由して、「友」事務所へ